

## ICTで授業をDX！

学年

小学校5年

教科  
など

算数

## Jamboardを使って均そう！

使用するアプリケーション等

・ Google Jamboard  
・ Microsoft  
PowerPoint

単元・題材 均した大きさを考えよう

本時の目標 均した大きさを平均の計算で求める方法を考えている。  
〈知識及び技能〉

ICTを活用することで できること

・ Google Jamboardを使って積み上げたブロックを実際に動かして具体的な操作活動を取り入れることで、「均す」活動をとらえられるようにする。

## DX前（ICTを使っていなかった頃は・・・）

## 1 導入

- ① 教科書の写真を見て、均すことの意味をとらえさせる。
- ② 均すことを知るために、ブロックやホワイトボードで操作を行う。

## 2 展開

＜めあて＞ならした量を計算で求める方法を考えよう。  
＜問題＞5個のオレンジをしぼったら、図のようになりました。  
オレンジ1個からしぼることができるジュースの量は、何mLと考えられますか。

- ① 均した量を求める
  - ノートに考えを書く。
  - 均すことへの関心を高めるために、ブロックやホワイトボードを人数分用意し、操作を行いながらならした量を求める。
- ② 全体で共有する。
  - 画用紙やホワイトボードを使って発表する。

## 3 まとめ

＜まとめ＞  
平均は、合計を求めて、それを個数で等分すると考えると、計算で求めることができる。  
① 教科書の問題に取り組む。  
② 振り返りをノートに書く

DX!

## DX後（赤字はICT活用場面）

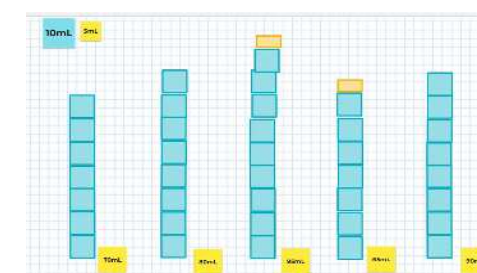
## 1 導入

- ① Microsoft PowerPointで様々な「均す」作業の写真を見せて、均すことの意味をとらえさせる。  
デジタル教科書を使用する。
- ② 「均す」ことを知り、操作として「均す」活動を行う。  
実際にGoogle Jamboardを使って均す。

## 2 展開

＜めあて＞ならした量を計算で求める方法を考えよう。  
＜問題＞5個のオレンジをしぼったら、図のようになりました。  
オレンジ1個からしぼることができるジュースの量は、何mLと考えられますか。

- ① Google Jamboardを使い、実際に操作をして均した量を求める。
  - わからない児童には、他の児童のページを見ていいことを伝える。
- ② 大型モニターを使用して児童のページを映し出し、全員でページを見ながら共有する。



## 3 まとめ

＜まとめ＞  
平均は、合計を求めて、それを個数で等分すると考えると計算で求めることができる。  
① 教科書の問題に取り組む。  
② 振り返りを書く  
● タブレットで振り返りを記入して提出させる。

授業者から（成果・課題・留意点）

・ Google Jamboardを使って実際に均したことで、均すことへの関心が高まった。作業をして自分で均したことで、理解が深まった。  
・ 実際にブロックなどを用意する必要がないため、ブロックの準備・片付けなどの時間を自力解決の時間に充てることができた。  
・ 大型モニターで映すことで、発表がしやすくなったり、見てる人も友達の考えがわかりやすくなったりした。